

「関門航路周辺海域における土砂処分場計画」策定に係る 連絡会（第4回） 議事概要

1. 開催日時：平成22年11月8日（月）15:00～16:00

2. 開催場所：国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所

3. 出席者

（1）地方公共団体

西山 隆詞	福岡県 県土整備部 港湾課
横田 幹生	福岡県 環境部 自然環境課
渡邊 大輔	福岡県 農林水産部 水産局 漁業管理課
佐藤 健司	北九州市 環境局 環境監視部 環境保全課
大庭 俊一	北九州市 産業経済局 農林水産部 水産課
住田 育生	北九州市 港湾空港局 整備部 計画課
上原 圭三	行橋市 市民部 環境課
光沖 和朗	行橋市 経済部
本田 一行	苅田町 産業建設部 交通商工課

（2）関係者

鈴木 崇弘	九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課
山川 浩	九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
石井 伸治	九州地方整備局 関門航路事務所
大池 義忠	九州地方整備局 苅田港湾事務所
宮地 豊	九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所

4. 議事メモ（○自治体、●事務局）

（1）資料－1 技術専門委員会（第3回）の報告について

特になし

（2）資料－2 意見公募（パブリックコメント）説明資料（案）について

- 自治体 パブリックコメントでは、当初の7案から5案に絞って、5案の比較の内容も含めて意見を聞くという理解でよいか。また、各配置案のメリット・デメリットなど細かいところまで意見を聞くのか。
- 事務局 パブリックコメントでは、個別の内容について意見を聞くと言うより、全体的な検討の進め方、評価項目、複数案の設定・比較等、説明資料全体について意見を聞きたいと考えている。
- 自治体 ステップ1では複数案の比較に『処分場を設置しない案』があったが、ステップ2では載せないのか。
- 事務局 『処分場を設置しない案』については、ステップ1にて検討済みであるため、ステップ2では『処分場を設置しない案』は検討対象外としている。
- 自治体 具体的な位置の選定においては、ミティゲーションの観点で何らかの提案が示されると思っていたが、そのタイミングは何時頃を想定しているのか。
- 事務局 ミティゲーションには様々な捉え方があると思うが、本計画の一連の検討において、いかに環境への影響を緩和するかといった検討がミティゲーションの考え方に含まれていると考えている。パブリックコメント結果等も踏まえて、引き続き検討を行いたい。
- 自治体 土砂処分場の形状について、900m×2000m に設定した理由は何か。
- 事務局 過去の事例より、コスト面や施工性等の観点から 900m×2000m の形状が、適当であると考えている。なお、細かい形状設定については、パブリックコメントの結果や、第4回技術専門委員会での助言等も踏まえて検討したいと考えている。
- 自治体 複数案の比較を文言だけで表現されているため、評価の内容が分かりにくい。点数化もしくは不等号など、わかりやすい表現ができないか。
- 事務局 現段階での点数化などによる比較評価は設定が難しい。パブリックコメントの意見から項目の重み付けなどが出来れば、表現の方法を工夫したいと考えているが、現段階では事実のみを記載し、パブリックコメントを行いたい。
- 事務局 意見公募（パブリックコメント）説明資料（案）については、意見が出やすいように何らかの工夫を行いたい。

(3) 資料－3 住民参画の進め方について

- 自治体 説明会の日時設定について、対象者をどのように考えて土日の昼間を設定しているのか。漁業関係者などは休日昼間よりも平日夜間のほうが出席しやすいように思う。
- 事務局 説明会は、広く一般の方々が参加しやすいと考えられる日程・時間帯を考慮し、土日の昼間とした。また、個別の説明会に対しても要望があれば、可能な範囲で対応したいと考えている。

- 自治体 漁業関係者への説明会の案内は、事務局が直接行うという理解で良いのか。
- 事務局 漁業関係者については、事務局の方から案内する。

- 事務局 住民参画の進め方については、原案どおり進めたい。

以上